

# 立川断層帯について

平成25年4月作成

府中市行政管理部防災危機管理課

政府地震調査委員会は、平成23年1月1日を算定基準日とした主要な活断層や海溝型地震の発生確率を公表しています。

立川断層帯における長期評価で予想した地震規模はマグニチュード7.4程度、地震発生確率は30年以内が0.5%～2%、50年以内が0.8%～4%、100年以内が2%～7%となっており、日本の主な活断層における相対的な評価では「やや高いグループ」に属しています。

しかし、この立川断層帯はまだまだ不明な点が多い断層です。大切なことは、いつ、どのように起きるか分からない地震に備え、日頃から家の耐震化や家具の転倒防止などの防災対策をしっかりとすることです。

## ● 位置の概略(P2、P3図参照)、最新活動時期(P1イメージ図参照)

立川断層帯は、埼玉県飯能市(旧入間郡名栗村)から東京都青梅市、武蔵村山市、立川市を経て府中市に至る断層帯で、名栗断層と立川断層から構成されています。全体の長さは約33kmで、概ね北西-南東方向に延びています。

立川断層帯における直近の最も新しい活動は、約2万年前以降から約1万3千年前以前の間に起きた可能性があり、平均活動間隔は1万～1万5千年程度であった可能性があるとして、平均的な上下方向へのずれの速度は千年の間に0.2～0.3m程度と推定されています。

## ● 地震発生確率について

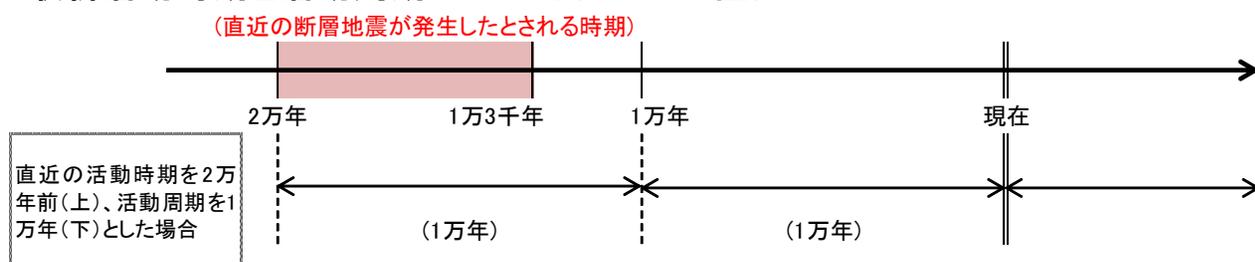
平成23年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生したことに伴い、政府地震調査委員会は平成23年7月11日発表の資料で、暫定的な措置として今後評価の見直しが必要と考えられる、また地震発生確率が震災発生前の値より高くなっている可能性があるとして、立川断層帯を含むいくつかの活断層を示しました。(ただし、具体的な数値は示されていません)

## ● 予想される活動

立川断層帯が活動した場合には、北東側に、相対的に2～3m程度高まるたわみや段差が生じる可能性があり、マグニチュード7.4程度の地震が発生すると推定され、府中市では最大震度6強の揺れが想定されています。(地震ハザードステーション～J-SHIS～参照)

しかし、立川断層帯は、現時点では活動時期等に不明な点が多い断層であるため、上記に述べた結果数値への信頼度は低く、今後過去の活動履歴について、より精度の高い資料を得る必要があります。(政府地震調査委員会の見解)

## ● 最新活動時期と活動周期について(イメージ図)



● 立川断層帯と他の断層の比較(政府地震調査委員会ホームページより一部抜粋)

主要活断層帯の長期評価の概要より一部抜粋(算定基準日 平成23年1月1日)			
	発生可能性の 相対的評価	地震発生確率 (今後30年)	地震規模
神縄・国府津-松田断層帯	高い	0.2～16パーセント	M7.5程度
三浦半島断層群	高い	6～11パーセント	M6.6程度
立川断層帯	やや高い	0.5～2パーセント	M7.4
※ 六甲・淡路島断層帯		0.02～8パーセント	M7.3

※ 1995年兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)発生直前における確率

● 今後の情報収集について

府中市は、東京都、周辺自治体と連携を図りつつ、国の専門機関(政府地震調査委員会)等からの協力を得ながら、引き続き立川断層帯に関する最新情報の把握に努めてまいります。

● 立川断層帯の概略位置図(政府地震調査委員会ホームページより引用)

図1(長方形は図2の範囲)

【URL→[http://www.jishin.go.jp/main/chousa/03aug\\_tachikawa/f01.htm](http://www.jishin.go.jp/main/chousa/03aug_tachikawa/f01.htm)】

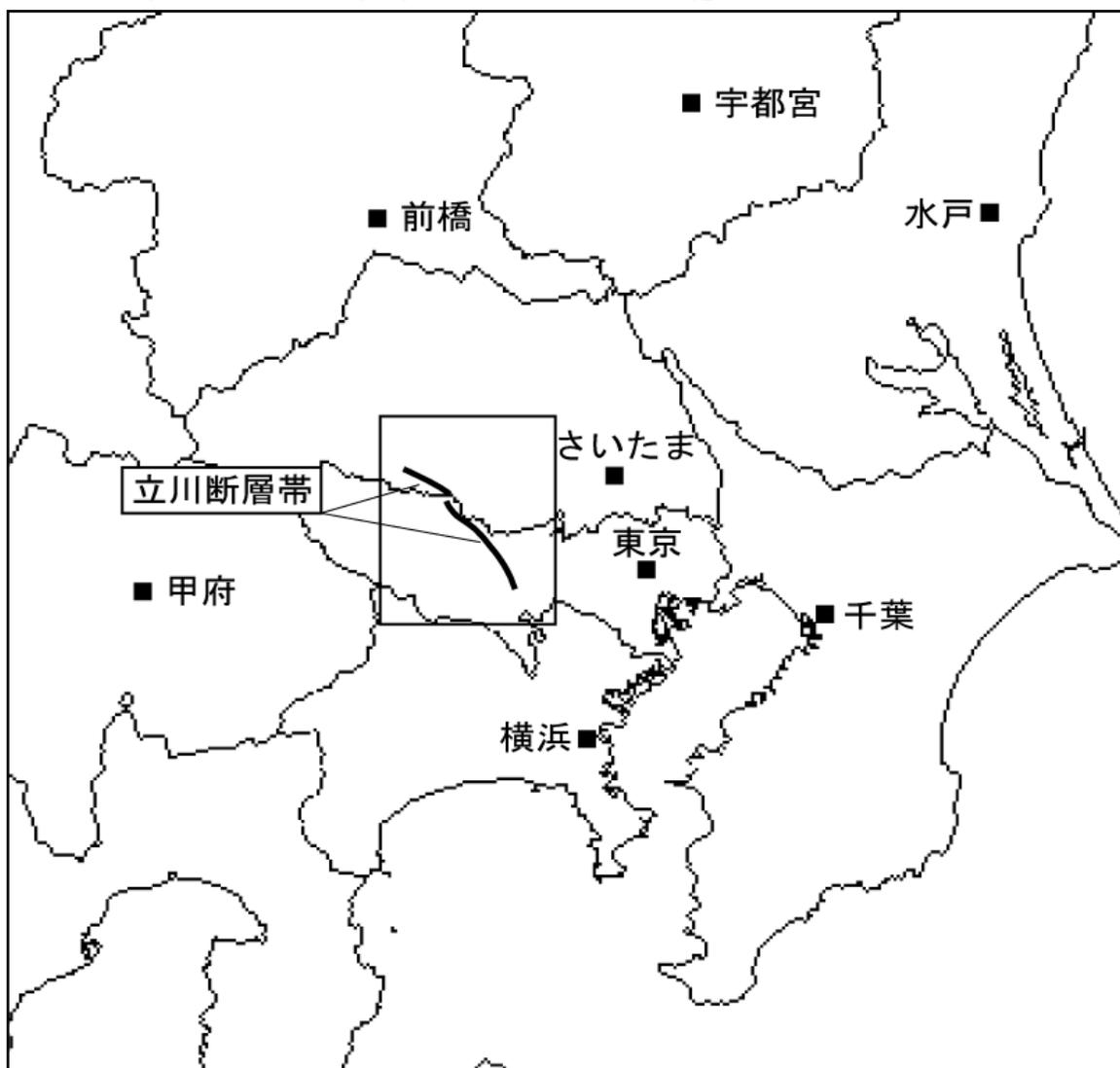


図2

【URL→[http://www.jishin.go.jp/main/chousa/03aug\\_tachikawa/f02.htm](http://www.jishin.go.jp/main/chousa/03aug_tachikawa/f02.htm)】



1：藤橋地点 2：箱根ヶ崎地点 3：谷保・矢川地点 4：一の宮地点

府中市については、四谷6丁目から四谷5丁目にかけて立川断層が通っているとの調査結果があります。

※地震ハザードステーション～J-SHIS～参照

## ～防災対策チェックリスト～

家具などの 転倒・落下防止	1 家具や電化製品などを固定する	
	2 出口をふさがないように家具を配置する	
けがの防止	3 ガラスに飛散防止フィルムをはる	
	4 スニーカーやスリッパなどを準備する	
家屋や塀の 強度の確認	5 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をする ※1	
	6 ブロック塀の補強や生け垣に変更する	
火災の 早期発見と防止	7 住宅用火災警報器を設置する	
	8 防災処理されたカーテンやじゅうたん、対震自動消火装置付きの石油ストーブ、Siセンサー(※2)付きのガスコンロを選ぶ	
消火への備え	9 消火器を準備する	
	10 ふろ水のくみ置きをする	
非常持出品の 準備	11 食料、飲料水を3日分用意する	
	12 懐中電灯やラジオ、救急セットなどの持出袋は、すぐに持ち出せるところに置く	
	13 期限切れや劣化しているものがないか、定期的に点検する	
避難場所・ 安否の確認	14 災害発生時の家族の安否の確認方法を定める	
	15 一時集合場所、避難所、広域避難場所と経路を確認する	
	16 地震ハザードマップや洪水ハザードマップをもとに、我が家の防災マップを作る	
	17 地域の危険箇所を確認する	
防災知識の 習得	18 防災訓練に参加し、身体防護、初期消火、応急救護などを身に付ける	
	19 普通救命講習を受け、救命技能を身に付ける	

府中市「わたしの便利帳」より

※1 建築指導課住宅耐震化推進係(電話:042-335-4173)・・・木造住宅耐震診断・改修・建替助成制度

※2 平成20年4月以降製造の家庭用ガスコンロには標準搭載。(卓上一口コンロは除く)



日頃からの  
備えが大切です！！

府中市行政管理部防災危機管理課

(電話) 042-335-4098



①ほっとするね 緑の府中

府中市